

Endocrine Journal 投稿規程（日本語版）

(2021/6/10)

Endocrine Journal（以下EJと略記）は、一般社団法人日本内分泌学会が発行する英文誌(オンライン)である。1954年創刊のENDOCRINOLOGIA JAPONICAより、1993年にタイトルを継承した。EJは内分泌代謝学分野において実験、理論あるいは臨床上の貢献をなす論文を公開し、もって世界の内分泌学発展に寄与することを願っている。

EJは新規の知見ないしは技術に関する未発表のオリジナルの論文（原著、短報、総説、速報等を含む）のみを掲載する。いずれの国からの投稿も原稿は英文とし、論文は正確な英語で著さねばならない。

投稿原稿の採否は、査読の上で編集委員長が決定する。掲載は原則として採択順とする。

掲載料は1ページあたり7000円とする。

論文の種類と投稿の手続き

1. 論文の種類：EJの論文の種類は原著（**Original Article**）、短報（**Note**）、速報（**Rapid**

Communication）、総説（**Review Article**）および編集者への手紙（**Letter to the Editor**）とする。

原著は新規かつ高い独創性を有する研究報告でなければならない。内容が予備的、否定的または追証的ではあるが重要性を有するデータを報告する短い原稿の場合は短報とする（長さは特に規定しない）。速報は4ページ(本文2,000語程度)以下とし、迅速に公表すべき重要性を有するものとする。

症例報告については、きわめて重要な症例、又は独創的な観点からの詳細な考察を伴う原著あるいは短報のみを採択対象とする。編集者への手紙の形式での症例報告は受けない。

総説および編集者への手紙については別項を参照すること。

2. 投稿の手続き：EJはインターネット上の投稿審査システムJ-STAGEによる電子投稿のみを受けける。

J-STAGE3（ScholarOne Manuscripts）投稿サイト <http://mc.manuscriptcentral.com/endocrj>

カバーレターを添付すること。カバーレターは編集委員長宛とし、EJへの掲載審査を希望する理由・経緯、当該研究の意義、オリジナリティの宣言、二重投稿していないことの宣言等を記載すること。なお、以前にEJに投稿してRejectされた論文を再投稿する場合、あるいは先に投稿した論文に密接に関係する論文を投稿する場合は、カバーレターに前稿の論文IDを明記して経緯を説明すること。さらに、再投稿では**14. 修正原稿およびレスポンスレターの作成**の手順に準じて、カバーレターの他に、レスポンスレターと、前稿からの修正部分をハイライト表示した原稿のアップロードが必要である。

論文原稿の作成 (最終ページのチェックリストを参照のこと)

原稿ファイル (Main Document/Word ファイル) には、以下の1～7 (表題～引用文献) までのすべてを含むこと。表および図はそれぞれのオリジナルファイルでアップロードすること。それらはシステム上で1つのPDFファイルに自動変換される。査読はPDFファイルでなされるので必ず確認すること。

原稿はTimes New Roman フォント、12ポイントを使用し、ダブルスペースで作成すること。審査の効率化のため、連続する行番号を全頁に示すこと。

1. 表題 (Title) : 表題は簡潔明瞭で記事の内容を具体的に表し、要点を示すものとする。略語はスペルアウトすること (eg. type 2 diabetes (T2D))

2. 欄外見出し (Running head) : 表題を簡略化したもの。スペース込みで40字以内とする。

3. 著者 (Author) : 著者の氏名を名 (first name) - 姓 (family name) の順に記載すること。各著者について、氏名 (フルネーム)、その研究が行われた所属機関名、住所および郵便番号を記載する。補助的協力者は「謝辞」に記してもよい。1ページ目に責任著者 (corresponding author) の完全な住所 (番地、郵便番号を含む) およびメールアドレスを明記すること。

著者資格 (Authorship) : 当該投稿審査システムにおいては、代理投稿は認めない。また、共著者同意確認のため、投稿確認メールは責任著者および共著者全員に送られる。メールアドレス未記載や不達が発生した投稿は受け付けない。責任著者は全員の正しいアドレスを整備すること。

4. 抄録 (Abstract) : 抄録は、200～250語で記事の要点について1パラグラフにまとめること。目的、方法、結果、結論等の項立てをしない。スタイルは本誌最新号にて確認されたい。

5. キーワード (Key words) : 論文の主要なコンセプトを表す5個までのキーワードを抄録の最後に付記すること。文献検索の助けとなるようなキーワードまたはフレーズ (一般的でない略語は使用しない) を選択するのが望ましい。略語はスペルアウトすること (eg. type 2 diabetes (T2D))

6. 本文 : 本文は原則として、緒言 (Introduction)、材料および方法 (Materials and Methods)、結果 (Results)、考察 (Discussion)、謝辞 (Acknowledgments)、開示 (Disclosure) の順に記載すること。

7. 引用文献 : 引用文献はバンクーバー規約に則り、本文中で順次番号を付け、原稿の最後に番号の順序に従って列挙する。著者多数の場合は5人までとする。定期刊行誌名は省略形、イタリック、開始頁と終了頁の桁数は同じ。本文中での引用は角括弧に入れて [1, 2] [3-5] 等とする。

[学術論文引用の記載例]

1. Takeuchi T, Tsutsumi O, Ikezuki Y, Kamei Y, Osuga Y, *et al.* (2006) Elevated serum bisphenol levels under hyperandrogenic conditions may be caused by decreased UDP glucuronosyl transferase activity. *Endocr J* 53: 485-492.

[和文論文引用の記事例]

英語以外の論文の場合は末尾に (In Japanese) 等を付記すること。

2. Suzuki J, Yamauchi M, Mizutani N, Shibata T, Suzuki A, *et al.* (2006) A case of type 2 diabetes mellitus associated with cytomegalic colitis. *Tonyobyō* 49: 535-539 (In Japanese).

[書籍の一部引用の記事例]

3. Volpe R (2001) The immune system and its role in endocrine function. In: Becker KL (ed) *Principles and Practice of Endocrinology and Metabolism* (3rd). Lippincott Williams & Wilkins, Philadelphia, USA: 1770-1781.

[書籍全体引用の記事例]

4. Becker KL (ed) (2001) *Principles and Practice of Endocrinology and Metabolism* (3rd). Lippincott Williams & Wilkins, Philadelphia, USA.

[会議抄録の引用の記事例]

5. Takemoto T, Maegawa H, Kimura H, Kashiwagi A (2006) A newly identified RNA-binding motif protein controls transcription of SREBP-1c gene in the liver of high-fructose fed mice. Program of 66th Scientific Sessions of American Diabetes Association, A63 (Abstract).

[Websiteからの引用の記事例]

6. (2020) Prospects for change: localizing global ambitions to country contexts. World Health Organization. Regional Office for Europe. Copenhagen, Denmark.
<https://apps.who.int/iris/handle/10665/331887> accessed on August 3, 2020.

8. 図、写真および表：

- ・ Main Documentファイルとは別に、それぞれの元ファイル形式でアップロードすること。図のカラー化を推奨している。
- ・ 図表にはアラビア数字で一連の番号を付すこと。
- ・ 図表本体の枠外の余白に必ずその図表番号(タイトル)を記載すること。
- ・ 写真は十分な解像度で鮮明かつ適正なコントラストの画像ファイルで提出のこと。一般的な様式については本誌最新号<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/endocrj/-char/ja/> 上で参照されたい。
- ・ 他の出版物から転載する場合は、自著の場合も含め著作権者の転載許諾を取得して投稿すること。必要に応じてその旨を説明文中に記載されたい。

- 9. 略語、略号、単位および命名法：**略語を用いる場合は初出時に説明を加えること。多種にわたりリストアップする場合はAppendixにまとめること。yr, h, sec, iv, ip, IU, mL, mM, μg, EDTA, cAMP, *r, p, SD*など汎用されている単位、略語、統計記号については定義の必要はない。臨床検査項目は国により略語が異なるため、略語を用いる場合定義が必要である。以下に挙げる以外のポリペプチドホルモンの略号は各記事で定義すること。

ACTH	副腎皮質刺激ホルモン	LHRH	LH放出ホルモン (use GnRH)
CG	絨毛性性腺刺激ホルモン	MSH	メラニン細胞刺激ホルモン
CRH	ACTH放出ホルモン	PRL	プロラクチン
CT	カルシトニン	PTH	副甲状腺ホルモン
FSH	卵胞刺激ホルモン	SRIF	GH放出抑制因子 (ソマトスタチン)
GH	成長ホルモン	T3	トリヨードサイロニン
GHRH	GH放出ホルモン	T4	サイロキシシン
GnRH	ゴナドトロピン放出ホルモン	TSH	甲状腺刺激ホルモン
LH	黄体形成ホルモン	TRH	TSH放出ホルモン

度量衡単位はメートル法、時間は24時間制で表すこと。

薬剤名は一般名で表すこと。商品名は商標マーク®をつけ一般名や系統的化学名で特定した後に用いてもよい。系統的化学名は*Chemical Abstracts*の索引に示された使用方法に従うこと。ポリペプチドホルモン以外の命名法および略号は国際純正・応用化学連合 (IUPAC) および国際生化学連合 (IUB) の推奨に従うこと。

国際標準品、NIDDK品などの標準品についてはバイオアッセイ、免疫アッセイ、レセプターアッセイなどによるタンパクおよびポリペプチドホルモンの推定力価を示し、「材料および方法」の項でその性質を述べること。認められている適切な標準がない場合は、使用した標準物質の調整および標準化について完全に記載すること。

市販の薬品、測定キット、機器等で重要なものについては、名称、メーカー名、本社都市名、国名を記載すること。

- 10. 統計解析：**データの統計解析は適切な方法で行うこと。複数の推定値間の同時比較は、多重 t 検定、多重範囲検定またはこれらの比較を可能にする同様の方法によって行うこと。データが正規分布から大幅に逸脱している場合は、適切なノンパラメトリック検定を行うこと。

バイオアッセイおよび競合タンパクアッセイについては、標準偏差、標準誤差 standard error of the mean、変動係数、95%信頼限界など、推定値の精度を表す指標を記載すること。

市販の計算ソフトウェアを用いた場合は、名称、Version、開発者を記載すること。

- 11. 写真掲載の同意：**患者が特定できる写真については患者の署名入りの同意書を提出すること。目隠しの写真についても同意は必要である。CT画像等に患者イニシャル等関連情報が残っていないことを十分確認すること。

- 12. 臨床試験の登録情報、インフォームド・コンセント、およびランダム化比較試験：**

臨床試験・研究の報告である場合は、被験者の安全および尊厳を確保するため、EJでは、その試験・研究が施設内倫理委員会 (IRB) の承認ならびに公的臨床試験登録機関 (UMIN、ClinicalTrials.gov等) への登録を経て実施され、被験者および未成年の場合は保護者からインフォームド・コンセント (IC) を取得したことを「材料および方法」の項に正式に記載することを義務づけている。公的臨床試験登録機関での登録番号があればそれも記載すること。基本的

にICの取得を必須とするが、その取得が困難な場合は、その旨を「材料および方法」の項に記載し、どういった点で困難であるかをカバーレターに具体的に記載すること。

また、IRBの承認書類の写しをSupplementary Fileとしてアップロードすること（**15. 原稿ファイルのアップロード** 参照）。書類の英語訳文をあわせてアップロードすること。

なお、公的臨床試験登録機関への登録がなされていない場合は、その理由を投稿審査システム上に記載して届け出なければならない。

参加施設に関する情報は、多施設にわたる場合Appendixとして最後にまとめること。

また、動物実験・研究の報告である場合は、その試験・研究が施設内動物倫理委員会の承認を経て実施されたことを「材料及び方法」の項に正式に記載することを義務付ける。また承認書類の写しをSupplementary fileとしてアップロードすること。書類の英語訳文をあわせてアップロードすること。

RCT (randomized clinical trial) 論文の場合は、the CONSORT 2010 guidelines を参照すること (<http://www.consort-statement.org/>)。

EJではCONSORTチェックリストの提出を義務付けている。

(<http://www.consort-statement.org/media/default/downloads/consort%202010%20checklist.pdf>)

投稿時に、Supplementary fileとしてアップロードすること。

「臨床研究法」で定める特定臨床研究に該当する研究（未承認・適用外の医薬品に係る臨床研究や、医薬品等製造販売業者から研究資金の提供を受けて実施する臨床研究等）は、同法で定める実施基準に従うこと。

13. 利益相反（COI）関連の宣言：

利益相反（COI）関連の宣言は、本文中の「開示（Disclosure）」の項に必ず記載すること。開示すべき事項が無い場合にも、“None of the authors have any potential conflicts of interest associated with this research.” のような文言を付記すること。

当該研究に関連して利益相反の申告事項がある場合、投稿審査システム上の届出用紙（Form 2）を用いて申告（すなわち記入済みのForm 2をPDF化し、システムにアップロード）すること（File DesignationはCOI form）。届け出られたForm 2は編集事務局にて手順に則り管理し、他へ提供することはない。

14. 修正原稿およびレスポンスレターの作成

修正後再審査の判断がなされた場合、担当編集委員および査読者のコメントを付した修正依頼のメールが配信される。著者は各コメントを検討し原稿の修正を行い再投稿すること。

最初の修正稿提出時には、英文校正証明書を提出すること。Supplementary Fileとしてアップロードすること。

1) 修正原稿は修正箇所が一目でわかるよう黄色ハイライトで表示されたい。ただしMS Wordでの修正履歴機能は使わず、重要な削除については下記レスポンスレターに説明すること。

2) 別途、各コメントに対する著者の対応あるいは見解を1：1で説明したレスポンスレター（カバーレターではない）のファイルを作成し、修正原稿の初頭にアップロードすること。各コメントも記載すること。

3) なお、一度Rejectされた論文を再度投稿する場合は、カバーレターに前論文IDを明記のうえで経緯を説明し、上記手順に準じて作成したレスポンスレターと原稿（ハイライト付き）を投稿すること。それらに誠意をもって対応されない再投稿は受け付けない。

15. 原稿ファイルのアップロード

以上により作成された原稿ファイルをシステムにアップロードする際には、File Designation: として、Main Document, Table, Figure, Response to Comments, Supplementary File の5種類より選択する。

- 1) 論文原稿は、①Main Document, ②Table, ③Figureの順にアップロードすること。
- 2) 修正稿を投稿する際には、審査関係者のコメントに対するレスポンスレターのファイルをResponse to Commentsとして、Main Documentの初頭にアップロードすること。
- 3) 投稿時には、補足的な図/表（動画ファイルや巨大なデータ表ファイルを除く）は、Supplementary Fileではなく、通常のTable /Figureとしてアップロードすること。
- 4) 動画ファイルや巨大なデータ表ファイルは、Supplementary Fileとしてアップロードすること。これらのデータは、原稿のPDF化の対象にならない。論文の一部として公開の必要があれば、J-STAGE上Supplementary materialsとしてリンク対応する。
- 5) 論文本体ではなく、レスポンスレター内の説明のために付加した図表ファイルは、Response to Commentsとしてアップロードすること。

16. 校正：

早期公開前および本公開前に著者校正を行う。本文論旨にかかわる修正や著者名の追加・削除等、重要な変更については、あらかじめ編集事務局ej-submit@endo-society.or.jp に連絡されたい。その際には理由の説明が必要である。

総説（Review Article）

EJは、内分泌代謝学のあらゆる実験および臨床分野の学術的総説を掲載する。編集委員長が執筆依頼する依頼総説（Invited Review）を基本とするが、関心のある個人による提案総説（Proposed Review）も受け付ける。

投稿に先立ち、以下を提示した提案書をEメールで編集委員長宛（ej-submit@endo-society.or.jp）に送信されたい。

1. 提案する総説の全概要と扱うすべての話題
2. 各著者の主な履歴書
3. 著者の主な著作書誌一覧
4. 原稿提出(投稿)予定日

編集委員による審査後、提案の採否を通知する。採用された場合、著者は通常の論文原稿作成の規程と手順に従い投稿すること。

原稿本文の構成は著者に一任するが、論理的で読者が理解しやすいものでなければならない。原稿の最後に概要または結論を記載することは読者にとって有用であろう。原稿は、一般的に関心を持たれている内分泌学の話題に関するタイムリーかつ信頼しうる総説でなければならない。著

者は、内分泌学者およびその他の科学者がその題材に関して知識と共に展望を得ることができるよう、十分な背景情報を提供しなければならない。著者の観点を裏付ける少量の新規データを含めることは可能だが、新規知見を主に扱う原稿の場合は、通常の原著論文として提出すること。原稿は、編集委員および同分野のその他の専門家により正確性、明確性等について審査される。総説の掲載料は10ページまでは無料である。超過ページ分については、依頼した総説以外は実費を著者負担とする。別刷は50部までを無料とする。

編集者への手紙 (Letter to the Editor)

EJに掲載された記事に関するもののみを採録対象とし、その掲載から6週間以内に受け付けられなければならない。他誌に発表されていないものに限る。また、この形式での症例報告は受け付けない。以下の事項に留意されたい。

1. 本文初頭に元になるEJ記事を特定すること。
2. 本文は引用文献を除いて500語以内（最後に語数を括弧で記載すること）とする。
3. 著者の人数は5人以内とする。
4. 引用文献は5本以内、図表は1つまでとする。

増刊号 (Supplementary Issues)

EJは各巻につき2冊までの増刊号を発行することがある。増刊号は通常、1つの総合タイトルのもとに10から20の原著および/又は総説記事から構成される。原稿は通常号の原稿作成に準ずること。増刊号による発表を望む場合は、グループを組織し代表者を指名すること。代表者は①総合タイトル、②代表者名、所属、③発行予定時期を記入の上、メールで編集事務局 (ej-submit@endo-society.or.jp) に申請すること。刊行理事、編集委員長が可否を決定し、通知する。増刊号の発刊と配布にかかる費用は代表者負担となる。

著作権

EJに掲載された記事の著作権は日本内分泌学会に帰属する。

掲載料、英文校正料、図版作成料

掲載料は1ページあたり7000円とする。

英文校正が必要な場合は、別途手配する（有料）。

別刷

別刷（カラー印刷可能）については、早期公開前の著者校正時に注文用紙を著者に送付する。

問い合わせ先：日本内分泌学会 Endocrine Journal 編集事務局（京都）

ej-submit@endo-society.or.jp

Endocrine Journal 原稿提出時のチェックリスト

◆基本的な確認◆

<input type="checkbox"/>	著者名に間違いはないか、フルネームか(イニシャル不可)、First-Middle-Family の順か
<input type="checkbox"/>	プライバシー等、倫理的配慮は十分か 例)患者写真、フィルム上の患者名

◆ファイル形式◆

<input type="checkbox"/>	本文:Word 表:Word/Excel グラフ:Excel/PowerPoint 画像・写真:PowerPoint/Illustrator
--------------------------	---

◆本文の表記スタイル◆

<input type="checkbox"/>	標題および略標題での大文字使用は、原則、文頭のみ 例)New Targets for Old Hormones: Inhibins → New targets for old hormones: inhibins
<input type="checkbox"/>	所属機関の表記は統一できているか 例) (所属),機関名,市(または県)名,郵便番号,国名
<input type="checkbox"/>	ダブルスペース か、フォントは Times New Roman か、12 ポイントか
<input type="checkbox"/>	抄録は、Background, Result 等の 項建てをせず 1 パラグラフ で、250 語以内に
<input type="checkbox"/>	一般的でない略語のフルスペルはあるか、 Key Word もフルスペル か
<input type="checkbox"/>	本文中の参照文献番号に角カッコ[]を使用しているか 例) [3,5,7-9]
<input type="checkbox"/>	参照文献の記載は投稿規程に準じているか、誌名略記スタイルは統一できているか 例)Takeuchi T, Tsutsumi O, Ikezuki Y (著者最後ピリオド不要、多い時は5人まで) (2006) Elevated serum bisphenol levels . . . caused by decreased UDP-glucuronosyltransferase activity. (ピリオド要) <i>Endocr J</i> (誌名略記イタリック) 53: (号・月不要、 コロン要)485-492(開始頁と同桁).(最後にピリオド要)

◆フォント等書式◆ 本文以外の表・図・図説明文の記載についても統一を確認してください

<input type="checkbox"/>	ラテン語由来の単語はイタリック表記で統一できているか 例) <i>in vivo vs et al.</i>
<input type="checkbox"/>	統計関連記号はイタリック表記で統一できているか 例) $p=$
<input type="checkbox"/>	遺伝子由来のイタリック体とペプチド・タンパク由来の正体の使い分けを確認できているか
<input type="checkbox"/>	臨床検査項目、NS 等の略号は説明できているか
<input type="checkbox"/>	単位表記は統一できているか。リットルは大文字の L を使用のこと 例) mL, dL
<input type="checkbox"/>	上付文字・下付文字の使用は統一できているか、文字化けはないか
<input type="checkbox"/>	α 、 β 等のギリシア文字、±、不等号の表記は統一できているか、文字化けはないか
<input type="checkbox"/>	ハイフンの有無は統一できているか 例) MEN1 MEN-1 MEN 1 など混在させない
<input type="checkbox"/>	上記につき、表中、図中、および図説明文中の記載についても統一確認できているか

以上